

平成28年度 水難事故防止啓発出前講座

(実施計画)

平成28年7月15日

国土交通省香川河川国道事務所
香 川 県

1. 開催趣旨

平成19年7月に四万十川で2人、8月に仁淀川で1人の小学生が、また平成20年7月には神戸市の都賀川で5名（児童3名大人2名）が亡くなるという水難事故が発生しました。その他にも、全国の河川で毎年200名以上の方々が水難事故で亡くなっています。

海や川などの水辺は、本来、自然を学び野外活動を行う場として非常に優れたものですが、都市化の進行や生活様式の変化により、日常生活の中で水辺に接する機会が少なくなってきました。また、防災施設整備が進み水害が減少したことにより、川などの水辺に対する畏敬や恐怖心が薄れつつあります。

水難事故を防止するには、学校教育や社会教育等の中で、子供たちに川の面白さ等を体験を通じて教えると同時に、川の特性や危険を察知する能力・感覚を身に付けてもらうための啓発を推進する必要があります。

本講座は、地域の子供たちを対象に、川の楽しさを伝えるとともに、川の怖さを理解してもらい、万一水難事故に巻き込まれた場合に、危険を回避する能力を身につけていただくことを目的に開催するものです。

2. 講座内容

講座内容は、以下のとおりです。

- ①水辺の楽しさと怖さを知る
- ②水辺の危ないところを知る
- ③もしもの時の対処法「着衣泳」

3. 実施場所・日程

場 所：丸亀市立城北小学校

日 時：7月15日(金) 8時45分～12時00分

参加数：4年57名、6年53名、合計100名＋担当教諭

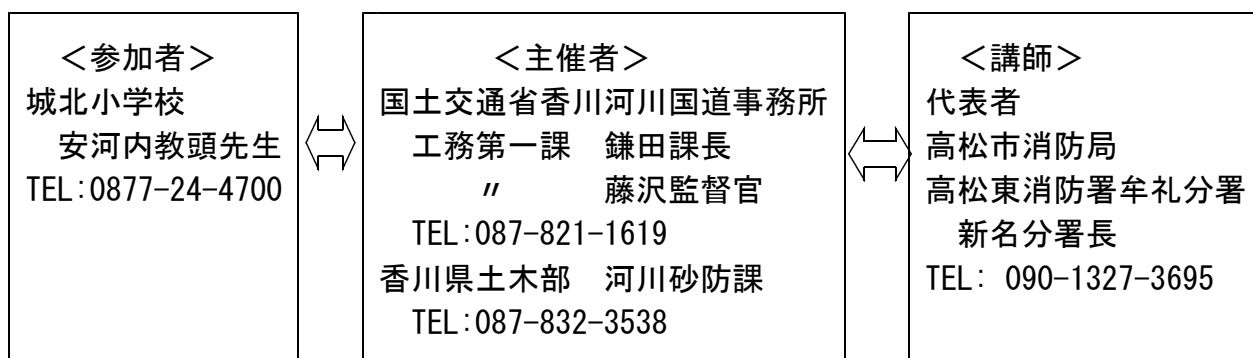
4. 講師

水難学会指導員（消防士の方々）に、「着衣泳法」の実技を指導していただきます。

講義は国土交通省職員で対応します。

香川県の取り組みは、香川県職員で対応します。

5. 実施体制



6. 時間割

8 : 4 5 開会挨拶 (体育館にて)

8 : 5 0 講義 (ビデオ・資料による) 3 5 分

①川の楽しさと怖さを知る。

・川などの水辺の楽しみ方や危ない場所を知る。

・川に行くときの注意

・ライフジャケット・スローバッグの使い方

9 : 3 0 講師紹介 (体育館にて)

9 : 3 5 6年生が移動 (プールへ移動、着衣し、靴を履いたまま)

4年生は、10 : 5 0 迄にプールへ移動。

9 : 4 5 ~ 1 0 : 5 0 6年生の実技講習

1 0 : 5 0 ~ 1 1 : 5 5 4年生の実技講習

実技講習の内容 (プールにて)

③もしもの時の対処法

・自分が川に落ちたとき (浮き方、流され方、着衣泳)

・仲間が川に落ちたとき (助けを呼ぶ、ロープによる救助)

・救命胴衣 (ライフジャケット) を知る

1 1 : 5 5 閉会挨拶

1 2 : 0 0 終了

実施状況写真 1 / 2 (H27年度の琴南小学校の実施写真)



画像・ビデオによる学習



香川県の取り組み紹介



救助ロープの使い方



水難学会の講師（消防士の方々）



ペットボトルでも浮けることを学ぶ



運動靴を履くと浮きやすいことを学ぶ



流れ方を学ぶ

実施状況写真 2 / 2 (H27年度の実施写真)



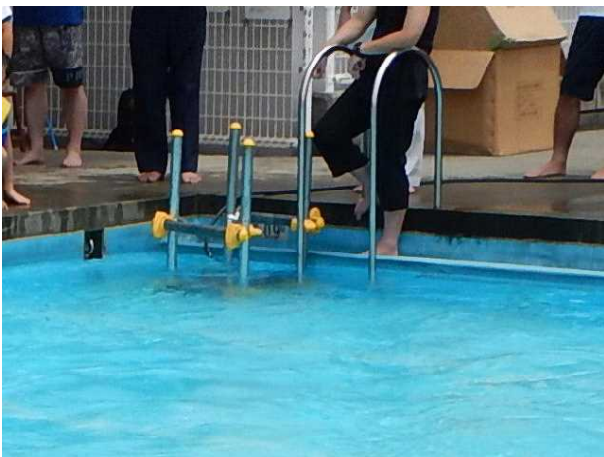
救命胴衣(ライフジャケット)を学ぶ



ライフジャケットが浮きやすいことを学ぶ



救命ロープの使い方を学ぶ



プールの四隅にポンプを設置し流れを作ります。
洗浄したポンプを使うので衛生面も問題なし。
万一の事故も無いように、職員が警護します。



プールに流れを作るポンプを動かすため、
プール脇に排水ポンプ車を駐車します。